

# 三小タイムズ

令和2年9月25日発行 校長 辻 久恵

## 国語授業（1年2組）

## 単元名 しを よもう

### 本時のねらい

定型から生まれるリズムや響き、オノマトペからのイメージの広がりを通して詩を楽しむ。

### 学習の展開

○「雨」と聞いて頭に浮かぶことを出し合い、雨についてイメージを膨らませる。

- ・雨って聞いてどんなことが浮かびますか。  
☆気持ちいい。 ☆すっきり。 ☆お花が喜び

○「あめのうた」を音読する。

○「あめのうた」を読んだ感想を出し合う。

- ・雨の音ってどんな音？  
☆どんどん ☆びちびち ☆つんつん ☆しとしと  
☆優しい感じ ☆いろいろな音が聞こえる  
☆かさをさしてどこかへ行く感じ

○二連の雨が当たった物と、そこから響いてくるイメージを話し合う。

- ・この詩にはきまりがあります。  
〈手拍子をしながら担任が詩を読む〉

☆かね、つち、かわ、はなが次も同じ。

- ・3, 4, 5になっていますね。

☆左側も同じです。

○自分だったらどんな音をイメージするか発表し合う。

- ・とんとんの他にどんな音がしますか。  
☆ぼつん ☆どんどん ☆こつん ☆びちびち ☆こんこん

- ・雨が当たりそうな場所はどこですか。

☆車 ☆かさ ☆あたま ☆地面

○「やね」「つち」「かわ」「はな」と、オノマトペの部分を変えて、自分たちの「あめのうた」の詩を作る。

- ・ワークシートに書いてみよう。

で   のうた

- ・次の時間に発表してもらいます。

○まとめ

- ・作った人の気持ちを短い言葉で書くのが詩です。

